

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般レストラン（経営者）	・年末年始にかけて各種会合が増えることと、おせちの出荷増が期待できる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・2月の始めから販売する新学期用品の注文数が昨年とほぼ同じくらいあるので、期待している。
		スーパー（店長）	・ここ2か月の数字的な状況を見ると、多少、近隣の景気が良くなっているので、年末年始の商戦は期待ができる。
		コンビニ（経営者）	・10月のたばこ値上げで売上が一挙に落ち込んだ余波がまだ残っており、11月も良くないが、2～3か月後にはいくらか良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車の投入があり、来客数の増加が見込めるため、良くなる。
		観光型ホテル（営業担当）	・宿泊、忘新年会の予約はおおむね好調である。
	変わらない	商店街（代表者）	・客が本当に気に入った物が必要な物以外、財布のひもは固い。
		商店街（代表者）	・路面店、特にかばんや袋物の小売店では、大型店に流れる人の対応に苦慮している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・年が明けても、冷え込んでいる景気が上がる気配は感じられず、なお一層引き締めが行われる。
		百貨店（営業担当）	・イベントを含めて、非常に多くの来客数であるが、まだまだ安定した売上ができる状態ではないので、毎月きちんとした企画を全店で打ち出して売上安定につなげる。
		百貨店（販売促進担当）	・ポイントアップや特別優待会等の仕掛けに対する顧客の反応は、以前より良くなってきている。しかし購買は依然として慎重であり、本当に必要なものしか購入しない傾向は今後も継続する。
		百貨店（販売促進担当）	・前年を上回る冬季賞与支給の報道があったので、短期的には所得の一部が消費に回り好転する部分もあるだろうが、長続きはせず、消費者の堅実路線はこのまま続く。
		スーパー（統括）	・報道によると、ボーナスの支給は前年を上回る見通しとのことなので、ギフト需要が前年よりは期待できる。衣料品の売上高が戻り始めているので、暖冬にならなければ、ある程度先行きは期待できる。
		コンビニ（経営者）	・今月が良過ぎたので、これ以上は良くならない。
		コンビニ（経営者）	・今月は年賀状販売等、非常にプラスに振れた商材が多かったが、2～3か月後の販売はやや落ちる。その中でいろいろと新しい工夫をして客の獲得につとめ、なんとか現状を維持したい。
		コンビニ（店長）	・先月のたばこ値上げで変化した分が思ったよりも早く金額ベースで戻ってきたので、この分ではいけば今までと変わらない状況になる。
		衣料品専門店（統括）	・先日、20%サーブスのプレミアム付き商品券を販売したが、その商品券が商店街の店で使われるか、商店街の中の大型店にいつてしまうのではないかと懸念している。
		乗用車販売店（経営者）	・販売量の増加が見込めない。
		乗用車販売店（販売担当）	・かなり以前には、客と接していて、この客は車を買ってくれるという雰囲気や景気の良さが伝わってきたものだが、今は客に接していて、景気が良くなる感じが全くない。客が来ても、高価な車には全く目をくれず、中古車の安いものを見ており、新聞、ラジオ等でも景気の悪い話が出ないので、これから2～3か月先も極端に変わらない。
		乗用車販売店（販売担当）	・来客数も少なく、新型車発売の予定もあるが、魅力のある新型車が出るわけでもないの、変わらない。
住関連専門店（仕入担当）		・年末までは今の傾向が継続すると思われるが、繊維、ゴム関連の原材料の値上げ申請が多く、その幅も10%を超えるため、いまだデフレ傾向にある中、その対応と価格戦略で年明けの動向は不透明な点が多い。	
一般レストラン（経営者）	・ここ何か月も売上は横ばい状態で変わらない。来客数も多少の増減があるが、ほとんど変わらないので、この先良くも悪くもならず、変わらない状態が続く。		
一般レストラン（経営者）	・宴会の小型化は相変わらずで、他店でも同様の話をしている。		
都市型ホテル（経営者）	・町全体の活気が無く、自動車産業の衰退と共に町も衰退している。		

	都市型ホテル（支配人）	・現時点で予約は前年並みに入っている。個人やビジネスマンの動きはまだ読み切れないが、前年と同じくらいの数字は保ちそうである。
	旅行代理店（従業員）	・小人数のグループ客は多少動いてはいるが、企業の慰安旅行は全く無い。
	旅行代理店（副支店長）	・国内旅行はほぼ例年通りだが、海外旅行や業務渡航は中国や南北朝鮮半島の状況によっては減少すると思われる、全体的には変わらないが、やや低迷する。
	タクシー（経営者）	・この先も現在の状況では、悪いままで変わらない。
	通信会社（販売担当）	・先行きが不透明なため、消費に対してまだまだ慎重に構えている客が多く、状況は変化しない。
	通信会社（営業担当）	・農業が主産業の当地では、景気や気候の不安定さに大きな打撃を受けており、そこそこの収入では景気を押し上げるような状況にはならない。
	通信会社（総務担当）	・客の節約志向は増すばかりであり、個人消費は年齢層を問わず低下し続けている。
	遊園地（職員）	・一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響は依然大きいものと予想され、今後についても楽観視はできない。
	ゴルフ練習場（経営者）	・家電エコポイントなどで一時は効果があったが、終わってみると、この先どのくらい落ち込みがあるのか分からない。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] (店長)	・年末年始はファミリー向け映画新作公開など、プラスになる要因が多くあるが、ノロウイルスやインフルエンザの流行など子供、家族連れ客の外出を抑えそうな不安要因もある。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・年末が近づくにしたがって、客の財布のひもが緩くなり、消費に対する抵抗感が少なくなっている。節約への飽きもあるのか、収入がある程度安定してきたのかは不明だが、当社のようなゲームセンターは、それほど高額ではないので、客の意識が浪費ではなく、消費という感覚に変わりつつある。
	その他サービス[清掃] (所長)	・新年会等が開催され、一時的に財布のひもが緩んで上向くが、その後は元の厳しい状況に戻り改善は見込めない。
	その他サービス[立体 駐車場]（従業員）	・大手家電量販店もテナントに入っているため、家電エコポイント関連の来客数が一時的に伸びているが、終わるとまた通常時に戻る。月極めの契約関係も横ばいである。来客数は若干増えているが、単価と売上が横ばいであるため、変わらない。
	設計事務所（経営者）	・周囲の様子から見ても仕事が増える状況ではない。
	設計事務所（所長）	・来年に向けて受注につなげるためのイベント等を十分に考え、良い方向になるように努力したい。
	設計事務所（所長）	・景気対策の補正予算が何とか決定したものの、この地方でその効果が出てくるのは先の見通しで、まだしばらくは今と変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・景気の停滞感が根強く、消費意欲の回復は当面望めない。
	住宅販売会社（従業員）	・会社全体としてはやや良くなってきているようだが、当地区ではまだまだ実感できない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・商店街の空き店舗の入居者が決まらないが、空き店舗の多い商店街には客が来ない。
	一般小売店[家電] (経営者)	・エコポイント需要の反動が出てくるので良くない。
	一般小売店[家電] (経営者)	・エコポイントの駆け込み需要で仕事自体はまだありそうだが、売上が減少することは目に見えている。家電販売店の売上構成比第1位のテレビが売れなくなる厳しい時代を迎えることに不安を覚える。建築業界も仕事が出てこず、先の明るい話は聞こえてこない。
	一般小売店[乳業] (経営者)	・回復の要素は相変わらず無い。地方の閉そく感は深刻であり、底なしの悪化である。
	百貨店（総務担当）	・ボーナスや年末調整控除の減少によって手取り額が減少している。家庭で節約をしていけば、やはり衣類や食品等は必要最小限に抑えられ、衣類、食品の販売減になるので、これからますます悪くなる。
	百貨店（営業担当）	・今月は家電エコポイントによって販売量が上がっているが、円高などの要因もあり、将来的には個人消費は十分とは言えない。
	スーパー（経営者）	・デフレ傾向は依然として変わらない。
	スーパー（総務担当）	・ボーナスシーズンだが支給減の会社が多いと思われ、政治への不安から更に貯蓄に走り、必要な物だけを買う傾向が一層強まる。
	スーパー（経営企画担当）	・競争は激しくなる一方で、価格競争に巻き込まれており苦戦が続く。

	コンビニ（店長）	・たばこの売上は金額ベースではほぼ回復しているが、実数では7割程度で、これ以上は無理である。現在近隣で老人ホームの建設工事が行われ、この関係者の来店で一部カバーされて売上の的には少々良くなっているが、基本的には今後商況は悪化していく。
	衣料品専門店（店長）	・冬物セールから、春物定価販売への移行時期であるが、春のフォーマルスーツや入学、卒業のスーツ需要以外は、例年あまり期待できない。
	家電量販店（経営者）	・エコポイント制度の適用範囲の縮小による需要減のため悪くなる。
	乗用車販売店（従業員）	・家電での消費が大きくなる状況で、消費が向いてきていない。
	自動車備品販売店（経営者）	・周辺の工場などの活力がなく、勤めに行っている人もだんだん減ってきている。購買意欲がなかなか上昇していかないので、自力で考えていかないと将来良くならない。
	スナック（経営者）	・これ以上落ちないだろうというところから更に悪くなっていき、手の施しようが無い。
	都市型ホテル（スタッフ）	・現状ではひとまずだが、まだまだ景気が良くなると思えない。
	旅行代理店（経営者）	・今、製造業に元気が無いので、なかなかサービス業のほうにも仕事来ない。
	通信会社（経営者）	・現状で年末、年度末の見積、売上が無ければ、数か月後に冷え込むのは当然である。
	通信会社（経営者）	・家電販売は、家電エコポイントの関係で現時点では好調だが、品薄のため受注ができない状況である。家電エコポイント終了後の売上減は避けられない。
	ゴルフ場（業務担当）	・客は単価、金額について敏感に反応しているので、これからのオフシーズンの取り込みは価格競争が激化して、底値感から脱しきれない状況が続く。特にシニア層の顧客の取り込みが多くなっているため、なお一層価格に敏感になり、目標数値、利益確保が難しい状況になる。
	美容室（経営者）	・当県には美容院の数が非常に多く、競合店との格差が出ているので、これから先、売上全体はあまり伸びない。
	その他サービス 【フィットネスクラブ】（マネージャー）	・エコカー減税や家電エコポイント制度などの先行投資の影響で、今後はお金の回りが悪くなる。
	設計事務所（所長）	・建築関係では、赤字でも仕事をとらねばならない状況にあり、仕事を取っても取らなくても地獄という状況なので、淘汰が進む。
	住宅販売会社（経営者）	・将来に希望が持てない時なので、長いローンを組んで購入しようという気にならない。将来に希望が持てる政策を期待したい。
悪くなる	衣料品専門店（経営者）	・客が天候不順や景気の低迷に非常に敏感になっている。
	衣料品専門店（販売担当）	・店の立地が中心市街地であることも手伝い、相当難しい状況である。ここ1～2か月客足はすっかり止まっている。このままでは、本当に営業が続けられるかどうかという厳しい状況である。
	家電量販店（店長）	・エコポイント申請条件や内容変更に伴い、12月からはテレビを中心に冷蔵庫やエアコン等のエコポイント対象商品群は急激に販売量が鈍化する。また、1～3月にかけても同様に前年同期比を下回る。
	家電量販店（営業担当）	・エコポイント終了により消費は止まる。テレビ、エアコン、冷蔵庫も商品の先食いをしているだけなので、今後が大変困難である。
	乗用車販売店（管理担当）	・補助金により消費が回復したように見えるが、80円台の円高が続くなか、製造業を中心に為替差損が大きく影響し、大幅な損失を抱えている。このような状況下では、今後失業者が増えて雇用も低迷し、消費は大きく冷え込む。
	スナック（経営者）	・良くなる要素が少しも見当たらない状態が続いており、本当に先行きどうなるのか心配ばかりである。
	観光型ホテル（経営者）	・レジャー産業は、生活費の中で真っ先に削られる費用であるため、良くなることは到底思えない。
	都市型ホテル（スタッフ）	・企業の大きな新年会が非常に少なくなっており、少人数グループや課ごとの会になってきている。宿泊に関しても、年末年始はかなり宿泊が減るのではないかと危惧している。

		美容室（経営者）	・客の話では、昨年はボーナスが少しは出たが、本年はカットされたとのことである。当店も4年前からボーナスは出してない。そういった中で成人式の予約も減っており、美容室に来る頻度は更に落ちると予想される。
企業動向関連	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・廃家電工場向けフロン回収装置プラントへの受注、納品、及び販売、そして行政向けの処理装置の納品、設置が4月ごろまでの契約予定になっている。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・建設機械向けやトラック向けの部品加工に関して、客先でこなしきれない仕事の応援案件が増えてきており、いくつかの案件は確実に当社にて立ち上がる見込みである。他の仕事も大きく下振れする感じはない。
一般機械器具製造業（経営者）		・自動車部品に関して、エコカー補助金終了の影響はまだまだ見受けられず、ハイブリッド車の増加により微増の方向にある。また、建設機械部品は、4～5%くらい受注量が増加している。	
変わらない		食料品製造業（製造担当）	・安い物を割り切って購入する消費者もいるが、良い物をそここの価格でと選んで購入してくれる消費者もたくさんいる。ただ安くしても粗利が取れず、結局自分の首を絞めることになるので、数量が減っても価格は下げないほうが得策と考えている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・リゾートホテル体験工房との共同企画が動き出し、予想より多くの制作体験をもらっているが、しばらくは様子見である。
		金属製品製造業（経営者）	・納期が1週間くらいの短い仕事が急にきて忙しくなり、また暇になってしまうということの繰り返しで、将来の景気は全然分からない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・今までと変わったことは何もない。受注も多くなったわけではないし、売上はむしろ減り気味である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・受注量の減った代替品として別の仕事 came が、やはり工数がかかり落ちる状態である。上り調子ではいかず、このまま低空飛行で年度末までいく。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・ここ2～3か月は販売量、受注量共に増えてきているが、今後2～3か月先は変わらない、もしくは減る。
		通信業（経営者）	・ここ数年、売上が下がり続けており、これ以上景気が悪化すると会社が持たない。
		金融業（経営企画担当）	・製造業においては、円高の影響や中国動向を注視している。先行き不透明感があり、積極的な設備投資等にはなかなか踏み切れない。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・景気のバロメータとも言われるチラシ動向から見て、良くない業種が見付からない。全体的に落ち込んでおり、縮小傾向はまだ続く。
		社会保険労務士	・すでに悪い状態がしばらく続いているが、廃業まで行くところは以前より少なくなっている。今の状態がもうしばらく続く。
		司法書士	・先の見通しのある仕事が入っているわけではないので、良かったり悪かったりを繰り返しているが、今までよりは良くなる。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・経営者マインドが改善されず、投資抑制は当面続く。
やや悪くなる		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・相変わらず価格競争が激しい。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・今後は大物の仕事がほとんど無いので、少し先行きが心配である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・生産計画情報も少なく、先が読めないのが辛い。予想がつかない。
		建設業（経営者）	・家電エコポイント制度が変更になるため、悪くなる。
		輸送業（営業担当）	・家電エコポイント対象商品などが物流増加につながっていたが、今後は家電エコポイントの減少などにより、大分落ちる。いまだにデフレ経済に変わりなく、運賃の未納や同業者との値下げ競争にもつながっていくので、先行きは大変不安定である。
		金融業（役員）	・当地では、自動車部品を中心とした中小の製造業が数多くあり、円高が戻りつつあることは好材料であるが、エコカー補助金や減税効果も一服感が出ており、再び、売上の減少が見込まれている。
		不動産業（経営者）	・農業、工業などの基幹産業の見通しが非常に悪ければ、表面的な景気がある程度良くなったとしても、良くなるとは考えられない。

		不動産業（営業担当）	・11月は10月よりもホテルの稼働は若干増えたが、2～3か月先となると、企業は景気が悪くなるイメージがあるので、経費がなかなか出ず、仕事も少なくなり、出張も控える傾向になる。不動産については、相変わらず賃料を安くという動きが見受けられるので、あまり良い状態ではなく、やや悪くなる。
		広告代理店（営業担当）	・サービス業全体に言えるのだが、需要が減っているのに供給が過剰なままで、無料サービスや安売りが企業体力を減退させている。先は良くなるという感覚にすっかり慣れてしまった。
		経営コンサルタント	・飲食や食品加工など、食関連に動きがあるが、家計の消費枠の範囲内である。農商工連携の取組みも刺激があまり無く、勢いが落ちている。
悪くなる		化学工業（経営者）	・少ない仕事の取り合いになってきており、単価の低下で利益がますます圧縮され悪い方向になるため、ボーナスを出すのが大変である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・先行きの受注見通しが非常に悪い。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	・今後3か月の生産計画では12月は増えるものの、2、3月の伸び率は、これまでの10%台から2～3%に下がっている。それも国内不振で輸出頼みとなっており、不透明感が強くなっている。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・どこの店でも在庫調整はすでに終わっているが、店頭で売れていないため、仕入意欲は全くといっていいほど無い。シンプルな定番品のみ動いているが、価格競争が激しいため、経営に行き詰まる会社も出てきており、売上低下と信用不安で今後ますます厳しくなる。
		建設業（総務担当）	・9月決算で黒字を計上出来たのでひと安心であるものの、今期の受注金額は前年103%であるが、長期工事が多いので資金繰りに苦労するのが心配である。
		不動産業（経営者）	・取引先では、経費削減の動きが相変わらず強く、金額を下げないと毎年受注している仕事が取れないと話している。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・食品製造はスナック菓子から総菜まで含めて、増えてきている。商品の補充、こん包などの軽作業で、物流は動きが出てきそうである。住宅関連は低迷が続いている。
	変わらない	職業安定所（職員）	・製造業において照明器具の製造が他の地域から集約されたことや、洗濯機、電子レンジ、IH炊飯器の増産による求人が目立ったが、雇用形態は派遣や請負が大半であった。家電エコポイント制度が3月で終了することや円高を考えると、先行き不透明感が強い。
		職業安定所（職員）	・円高による先行き不安感等で、企業側の従業員採用意欲は低い。パート求人が一部増加傾向にあるものの、全体的には大きな変化が見られない。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の活用人数、活用日数は減少傾向にあるものの、新たに今後の活用相談が出て来ている。
		民間職業紹介機関（経営者）	・求人はわずかに回復傾向にあるものの、契約、アルバイト等の増加が目立ち、正社員採用は若干落ち込み始めている。企業は、労働者派遣法改正を意識して、派遣から正社員以外にシフトする傾向が顕著となっている。円高懸念が消えず、製造業の海外移転に拍車がかかり、国内求人への大きな不安材料となっている。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・例年好調である福祉系の求人が予想外に増えない。この景気状況で職員が退職しない事とパート職員の増加などが理由として考えられるが、現在内定の取れていない学生が後4か月でどれほどの求人情報を提示できるかは全く読めない。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・製造業の一部に受注が減少しているという話を聞いており、求人よりも求職者が若干、増加気味になって来ている。また、学卒の求人開拓も難しくなっている。
		職業安定所（職員）	・例年年末にサービス業、特に旅館やホテル関係の利用客が増加する傾向にあるものの、今年ほどの企業に聞いても予約が一杯になっていない。製造業は受注減が生じているため、今後はやや悪くなる。
		悪くなる	